

<p>部門名： 地域とともにある学校実践部門</p>	<p>エントリー名：高知県立山田高等学校</p>
<p>活動名： 探究を核とする学校づくり ～地域とともに創る学校を目指す～</p>	
<p>解決すべき課題：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域の学校であるにもかかわらず、地元からの志願者が年々減少する傾向にあり、地域の学校として魅力を増していく必要がある。(グラフ1) 2 生徒に自信をもたせる必要がある。(グラフ2) 	
<p>目標・方針：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒に地元の良さを気づかせ、地元へ貢献するという意識をもたせる。 2 学校外に、成果発表の場を常に設け、生徒に自信をつけさせる機会をつくる。(地域の人に褒めてもらう) 3 「探究」を通して、物事を深く考えられるようにする。 	
<p>活動内容：「地域課題探究学習プログラム」と地域にある多様な「活動の場」の活用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各学年の取組 (図1) (図2) (図3) (図4) <div data-bbox="201 1050 1424 1285" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1年：①地元企業のCM制作 (・担当企業を知るためのインターンシップ3日間と取材・発表会) ②地元3市への政策提言 (・市の担当から申し出のあった分野について講義を受け取材・各市長に提言する)</p> <p>2年：県への政策提言 (地域課題から県の課題へと発展させ、解決策を知事に提言する) ・県庁の部長から県の現状の講義・担当部局の職員からさらに詳しい講義・フィールドワーク</p> <p>3年：自分で見つけた課題について探究活動を行い、論文としてまとめ、発表する</p> </div> 2 学校全体：文化祭を地域のイベント (生涯学習フォーラム) の一環として行う (図5) (図6) 	
<p>活動の成果：生徒がもつ「地域に大切にされている」という実感</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒が、地域課題の解決のために、地域の多くの方々と関わり、地域のことを深く考える機会となっている。 2 生徒達は、それぞれの活動の発表の場で、成功したり、思うようにいかなかったりしたことを、多くの地域の方々に見てもらおうことを通して、共感してもらったり、励ましてもらったりして、自己肯定感を高めている。 (グラフ2) 3 本取組は、本校の特色として知られるようになり、教員が生徒の探究学習をより質の高いものにして取り組もうとしている。 	
<p>アピールポイント (アイデアや工夫)：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地元の各組織のトップによる運営委員会での取組内容に対する評価、意見、助言の活用。(図5) 2 生徒が、専門家等に直接、講義や助言を受けることによる当事者意識の醸成。 3 地域連携コーディネーターの様々な分野での配置による、教員負担減と成果の質の向上。 4 生徒の活動発表を広く地域の方々や県民に知らせるメディアの活用。 	

